

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成15年			
総合計画	大項目	基本目標	05 住民主体の協働のまちづくり
	中項目	基本施策	01 住民主体で進めるまちづくり
	小項目	施策	03 ボランティア・NPO
事務事業名		01	ボランティア支援センター等管理運営事業
		根拠法令・規程等	
		担当課(室)	企画課
		職・氏名	協働推進係長 下林博樹
		電話	0869-64-1806

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	ボランティア活動に関心のある人など
目的(何のために)	「ボランティア支援センター」をボランティア活動の拠点とし、ボランティア活動登録やボランティア活動の推進を図るとともにレンタサイクルの貸出などにより市民の健康の増進及び市民相互のふれあいを促進する。
行政活動(どのような方法で)	ボランティア支援センター等管理事業(指定管理)
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	ボランティア活動の活発化および市民の健康増進の促進。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
センター利用人数	人	6,271	6,837	7,230
事業費	千円	6,092	5,084	3,367
必要人員	人	0.15	0.04	0.07
事業費	千円	6,092	5,084	3,367
国・県・市・道・支	千円			
益者負担	千円			
総入	千円			
市債	千円			
その他( )	千円			
一般財源	千円	6,092	5,084	3,367
受益者負担比率	%			

結果指標名				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
利用者数	人	6,271	6,837	7,230
対前年比	%	-	109.0%	108.7%
活動コスト	円	6,092,000	5,084,000	3,367,000
単位当たりコスト	円	971	744	466

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
利用者数	目標値(A)	6,271	6,837	7,230	
	実績値(B)	6,271	6,837	7,230	到達目標年度
	達成率(B/A)	100%	100%	100%	
	達成率(B/A)	100%	100%	100%	
成果指標設定の考え方・式や説明					
広く利用してもらうこととして、利用者数を掲げている。					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	ボランティア活動の拠点としてボランティア活動の推進、啓発事業などを積極的に展開していくことが必要であり、目的は妥当である。
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 施設の認知度が低く、利用者数も非常に少ないため、施設の利用促進を図って行く必要がある。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> D 判定理由・課題認識 ボランティア活動団体やNPO法人などと連携を図りながら、ボランティア支援センターの有効的な利用促進を行うことが必要であるが、現状では有効的な活用とは程遠い状況である。
有効性の評価	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量	
	7,230	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
状況				○		
説明	ボランティア支援センターは廃止するも、引き続き同じ建物のサイクリングターミナルでボランティアの活動を支援していく。また、指定管理制度をやめ、市の直営として経費削減に努めている。					

総合評価		評価区分<A~E>
前年度より利用者数は増加しているが、依然として施設の認知度が低く、幅広く有効活用できていない。各種関係団体と連携を図りながら、この施設をボランティア活動の拠点としてもっと活用していく必要があります。		C 

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
状況		○				
説明	利用者数の増加を図る					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
	効率性	利用者数増	毎年	施設の認知度を上げ、幅広く有効活用する。		